

血球計数・CRP 装置 仕様書

性能、機能等の要求要件

- 1 検体は、全血のまま直接吸引させることにより、自動的に測定されること
- 2 血算 18 項目+CRP を同時に測定できること
- 3 検体吸引量は全血で 10 μ l の微量で、採血量の少ない検体をそのまま、白血球 3 分類も測定できること
- 4 血算 18 項目を約 60 秒で測定できること
- 5 設定した時間に自動的にスタートアップ、終了洗浄を行う機能があること
- 6 最新 200 検体の粒度分布図付測定データと、QC データ 180 検体・校正データ 11 検体を記憶することができること
- 7 測定は採血管の蓋を外し、ノズルの先を血液につけ、ホルダを閉めるのみの、測定者を選ぶ必要もなく、夜間緊急時でも簡単に測定できること
- 8 圧力方式にエアースリンダーを採用することにより、静音性に優れていること
- 9 測定毎に検出部を電氣的洗浄しており、常に安定した測定結果を提供できること
- ~~10 希釈液以外の試薬を本体内部に格納することができること~~ 削除
- 11 設定した時間に自動的にスタートアップ、終了洗浄を行う機能があること
- 12 試薬切れ・廃液満杯を感知するセンサーを有し、液晶画面の表示及びアラームで注意喚起を行う機能を有していること
- 13 設置に伴う付帯工事は一切必要ないこと
- 14 当院の電子カルテ（富士通；EGMAIN-GX）と接続すること。なお、接続時期については、病院と協議し決めること